

令和6年度

まちづくり推進部 横手地域局の方針書

組織名	まちづくり推進部 横手地域局
所属長名	藤倉 幹夫

1. 組織の使命(ありたい姿)

多様な住民ニーズを的確に捉え、市民との協働による安全安心な地域づくりを進めます。

2. 組織の抱える課題(現状)

- ◇消防団員の減少に歯止めをかけ、非常時に備え住民意識の醸成を図ることが重要である。
- ◇地区交流センターを拠点とした住民の交流を促進し、住民との協働による安全安心のまちづくりを進める必要がある。
- ◇道路や公園において適正な維持管理を行うとともに、作業中の安全管理の徹底が重要である。

3. 今年度の『スローガン』

住民との協働による安全安心のまちづくりを！

4. 今年度の方針

- ◇消防団活動を通じた住民の防災意識の向上
- ◇地区交流センターを拠点とした地域活性化と協働による交通安全の推進
- ◇道路・公園の適正な維持管理と作業事故ゼロの達成

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	消防団活動を通じた地域住民の防災意識の向上
	取組内容	①消防団活動の情報発信を強化し、火災と災害に対する意識の醸成を図ります。 ②地区交流センターにおける啓発資料の展示により、防災意識の向上に向けた広報活動を展開します。 ③横手支団幹部との対話・連携を基に、各種会議等の場を通じ新規消防団員の獲得に取り組みます。
(2)	実現したい成果	地区交流センターを拠点とした地域活性化と協働による交通安全の推進
	取組内容	①朝倉・旭・栄・横手中央地区の地域運営組織形成に向けた支援に取り組みます。 ②適正な維持管理を行いながら施設利用者の増加を図り、住民の交流促進と地域の活性化に努めます。 ③横手交通指導隊員との対話・連携を基に、各種会議等の場を通じ新規隊員の獲得に取り組みます。
(3)	実現したい成果	道路・公園の適正な維持管理と作業事故ゼロの達成
	取組内容	①危険箇所の早期発見と迅速な対応により、道路・公園の適正な維持管理に努め安全安心を確保します。 ②日々の声掛けと安全管理の徹底により、道路維持・公園管理・除排雪作業中の事故ゼロを目指します。 ③適正な作業計画と必要な知識・技術の習得により、効率的な維持管理業務に努めます。

6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

(1)消防団活動を通じた地域住民の防災意識の向上

- ・条里南庁舎及び地区交流センターへ消防団行事等の記録写真を展示した。また、団員の見せ場である訓練大会のポスターを各所に掲示することで一般観覧者を増やし、消防団活動への理解を推し進めた。
- ・条里南庁舎及び地区交流センターへ募集チラシを掲示するとともに、各種会議等で情報提供と協力要請をした。新規入団実績(8月末)11名【昨年度同期5名】
- ・実際の7月の大雨災害では、市と団が連携し、浸水が心配される集落のすべての住民の安否確認、避難誘導を実施。

(2)地区交流センターを拠点とした地域活性化と協働による交通安全の推進

- ・毎月1回会議(出席者:局長、課長、係長、担当)を開催し、運営協議会の支援体制について協議した。また、アドバイザーとの会議を開催し今後の進め方等について検討した。
- ・現在、組織の設立を進めている朝倉地区で、中高校生を対象とした地域について語る会を開催した。(9月)
- ・月1回発行の地区交流センターだよりの内容を充実させ、利用促進を図った。【利用者数実績:5.1%増(8月末)R6年度75,108人、R5年度71,492人】
- ・交通指導隊員については、各種会議で募集チラシを配布し加入を呼びかけるとともに、各地区交流センター等の施設に配架してもらうことで隊員の加入促進を図った。【隊員:1名増予定(10/1付)】

(3)道路・公園の適正な維持管理と作業事故ゼロの達成

- ・道路パトロールや住民等からの道路情報や公園要望苦情に基づき、迅速な維持管理を実施した。
- ・業務員に安全な作業に関する研修を受講させるとともに、道路作業員班長との定例ミーティングを実施し安全管理に努めた。【研修参加:草刈り8名】

7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

(1)消防団活動を通じた地域住民の防災意識の向上

- ・地区交流センターへ消防団活動の記録写真を掲示するとともに、防災関連の展示を行い防災意識の醸成を図る。
- ・消防団幹部と連携し、新規・機能別及び本部(市職員)消防団員勧誘の加入を促進する。

(2)地区交流センターを拠点とした地域活性化と協働による交通安全の推進

- ・既に運営協議会により運営されている金沢、黒川、境町地区交流センターから課題や意見等を聴取し、今後、組織の設立を目指す地域の参考とする。
- ・現在、組織の設立を進めている朝倉地区で各種団体、PTA、多様な世代等に対し語る会を実施し多様な意見を反映していくとともに、次に組織形成を目指す旭地区担当の市職員に向けて説明会を開催し、地域貢献の意識醸成を図る。
- ・引き続き、交通指導隊員の募集について、チラシ等による加入呼びかけを行うとともに、隊員の高齢化等による減少をできるだけ食い止めるための対策を検討していく。

(3)道路・公園の適正な維持管理と作業事故ゼロの達成

- ・流雪溝作業員と除雪オペレーターの安全管理のため、適正な作業計画と無理のない人員配置により作業を進める。また、安全管理に関する公務員倫理の研修やコンプライアンスの情報共有を通じて、職員と会計年度任用職員の間で共通認識に努める。

8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

(1)消防団活動を通じた地域住民の防災意識の向上

- ・地区交流センター等へ消防団活動のポスターや記録写真を掲示するとともに、チラシを配架し防災意識の向上を図った。
- ・消防団については、16名(12月末)の新規入団者を獲得したものの、団員減少に歯止めが掛からない状況であり、引続き団員の確保のため、様々な会議などで加入要請を図るとともに、消防団幹部と連携し、新規・機能別及び本部(市職員)消防団員の勧誘を活動を行う。

(2)地区交流センターを拠点とした地域活性化と協働による交通安全の推進

- ・令和8年度当初の自主運営化を目指している朝倉地区では、住民を対象とした地域を語る会を5回開催し、地域住民が地域の現状や課題などを把握することで地域協働への意識醸成につながった。また、同地区会議の全担当職員を対象としたファシリテーション研修会を開催し、準備委員会設立に向けた協力体制を整えた。旭地区では、地区会議の全担当職員を対象とした説明会等を開催し、地域の現状や地域運営組織の必要性等に理解を深めてもらい、今後の協力を要請した。
- ・地区交流センターにおいては、施設の適正な維持管理を行うとともに、センター報や主催講座の充実等により、利用者数の増加(対前年1月末比8.5%増)につなげた。
- ・交通指導隊については、センター報への記事掲載やチラシを配架して加入呼びかけを行い、2名の新規隊員を獲得した。

(3)道路・公園の適正な維持管理と作業事故ゼロの達成

- ・道路パトロールや住民等からの通報などに迅速に対応し、道路維持や公園管理に努めた。定期的なミーティングや安全管理研修などを行い、事故ゼロに向けて取り組んだ。(道路事故1件:12月末)
- ・無理のない作業計画の作成し、作業員に刈払いや除雪等の講習会に参加(16名)してもらうことで、安全で効率的な維持管理に努めた。

(4)その他 地域内事業への協力

- ・Ao-naのオープンに向けての周辺環境整備や、地域内で行われる観光行事(かまくら、菊まつり等)、北上線開通100周年記念事業、かまくらライド等に出来る限りの協力を行った。

【課題】

- ・管理・管轄しているインフラに老朽化が目立ち、計画的な改修が必要になる。(道路、水路、流雪溝ポンプ、南庁舎等)